

上池袋図書館の大規模改修(概要)について

資料 1

1 施設現況、工事期間

- ①所在地・開館・・・豊島区上池袋 2-45-15（平成 5 年 1 月 28 日竣工、同 7 月 20 日開館）
- ②構造・規模・・・鉄筋コンクリート造地下 1 階、地上 2 階、延床面積 1470.74 m²、敷地面積 1018.23 m²
- ③工事予定期間・・・令和 7 年 4 月 1 日～8 年 3 月 31 日（スケルトン改修） ※令和 8 年 6 月頃リニューアルオープン

2 改修概要（コンセプト：「みどりに囲まれたにぎやかな図書園」）

（1）築後 30 年超経過した建物・設備の老朽化に対応することはもとより、サービス、機能等も大幅に見直し、本との出会い、知らない世界との出会い、人や仲間との出会いなど、訪れるたびに新しい何かと出会える図書館をめざす。

（2）子どもから高齢者まで、読書が苦手な人や読書に課題を抱えている人も含め、あらゆる人の生涯学習の場、また居場所、交流の場として気軽に利用できる図書館とする。

①「静かに本を読む場所」という従来の図書館の発想を超え、1 階を会話自由な「にぎわいのある図書スペース」、2 階を読書・学習中心の「落ち着いた図書スペース」として区画することで、それぞれの目的に応じた快適な利用を可能とする。子どもや保護者が周囲に気兼ねなく利用できるよう、児童、ティーンズ(YA)コーナーを 1 階のにぎわいスペースに設ける。

②ゆったり過ごせるラウンジ席を含め、座席数を現行（74 席）から 2 倍以上に拡充するほか、飲食できるリラックススペースも設け、居心地のよい空間を創出する。

③受験勉強などにも利用できる独立した自習スペースを設ける。仲間同士で話し合って学習ができるスペースも用意する。

④地階には、本や図書館を通じた得た知識や情報を創造的な活動につなげるため、3D プリンターなどのデジタル機器を使ったものづくり体験ができるワークショップ（ファブ）スペースを設ける。

⑤カウンターに並ぶことなく、予約資料受取からリアルタイム返却まで可能な機能を導入する。（豊島区立図書館初）

⑥講座、映画会などを楽しみながら、地域の交流にもつなげるため、従前より拡大したホールを地下 1 階に設ける。

⑦旧国鉄電車区跡地に建ち、現在も J R 車両基地に隣接する経緯から特色としている鉄道関連の資料・企画を充実する。

（3）隣接の上池袋さくら公園とのつながりや図書館の開放感を高めるための整備を行う。
館外には読書や催事が楽しめるテラスを設け、地域の憩いの場を創出する。

※休館期間(令和 7 年 2 月初旬～8 年 5 月末予定)中、豊島清掃事務所 2 階に臨時窓口を設け、予約資料の受渡などのサービスを行う。(移送作業等による前後数日間除く。)



▲上池袋図書館キャラクター カミィ



▲車窓を感じる電車をモチーフとした閲覧席

時期、内容は変更となる場合があります。



改修後イメージパース



明るく暖やかな内観イメージ、本と人の出会いが生まれる展示スペース



上池袋さくら公園の緑や周辺の住宅街の景観に馴染む外観イメージ

3 フロア構成

2階:落ち着いた図書スペース

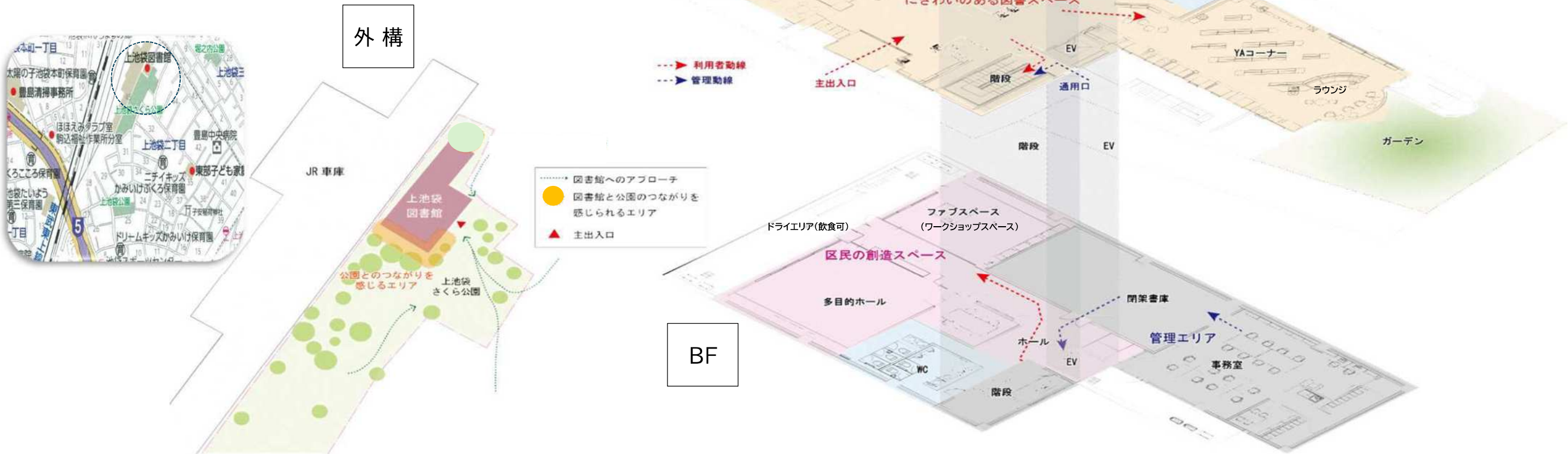
新聞・雑誌コーナー、一般書架、PC席、自習室等

1階:にぎわいのある図書スペース

児童コーナー、ティーンズ（YA）コーナー、ラウンジ、
授乳室、子ども用トイレ、車いす用トイレ等

地階:区民の創造スペース

多目的ホール、ワークショップ（ファブ）スペース
事務室、閉架書庫等



4 スケジュール

令和6年度 (6年4月～7年3月)			令和7年度 (7年4月～8年3月)			令和8年度 (8年4月～9年3月)		
設計			工事			●		
						8年6月頃 リニューアル オープン予定		
			休館（R7.2～8.5）豊島清掃事務所内に臨時窓口設置					

千早図書館の改築について

1 施設整備の基本方針

貸出・閲覧だけでなく、地域コミュニティの核となる居場所、交流の場としての図書館をめざす。

<具体的な整備手法・付加する機能（事業者募集要項記載事項）>

- 1 会話自由なにぎわいエリアと静かなエリアのゾーニング、レイアウトを行う。
- 2 全ての世代、特に子どもとその保護者、ティーンズ層が利用しやすい図書館をめざす。
- 3 居心地のよい滞在型図書館となるよう、快適性を踏まえた空間、デザイン、機能とする。（書架、テーブル、椅子、食事・カフェスペース等 バリアフリー含む）
- 4 一人でも仲間同士でも楽しめる図書館、本や図書館を通じて新たな出会いが生まれ、人と人がつながり交流できる図書館とする。
- 5 近隣住民、利用者のニーズや意見を反映する。
- 6 本図書館の独自性、特色をハード・ソフト両面に設ける。
- 7 S D G s 未来都市にふさわしい環境性能の高い施設とする。
- 8 住宅地域に立地する施設である点を踏まえ、周辺環境に十分配慮する。
- 9 新たな機能を検討する。（サービスの完全セルフ化、ファブスペース等）
- 10 千早地域文化創造館、千早二丁目公園との連携、分担を図る。

2 設計事業者の選定

公募プロポーザル方式により選定

令和 6 年 7 月、株式会社環境デザイン研究所（港区）を優先交渉権者に選定し、現在交渉中

※環境デザイン研究所：1968 年設立、会長仙田満（東京工業大学名誉教授、元日本建築学会会長）

主な実績：石川県立図書館、広島市民球場、多摩六都科学館ほか。

3 事業者提案（あくまで提案で、変更する場合があります。）

① 緑のコンパクト図書館

建物周辺に緑を植樹し、閲覧席からも緑が見える、周辺の住環境に適合する図書館とする。

② 回遊型図書館

多くの本との出会いや知的興味を促すよう、回遊型の図書館とする。

③ コミュニティ型図書館

それぞれが利用する図書館だけでなく、館内のオープンスペースでイベントに親しめるライブインライブラリーを設けるなど、地域の人々が集まり一体感や共感を楽しめる型図書館とする。

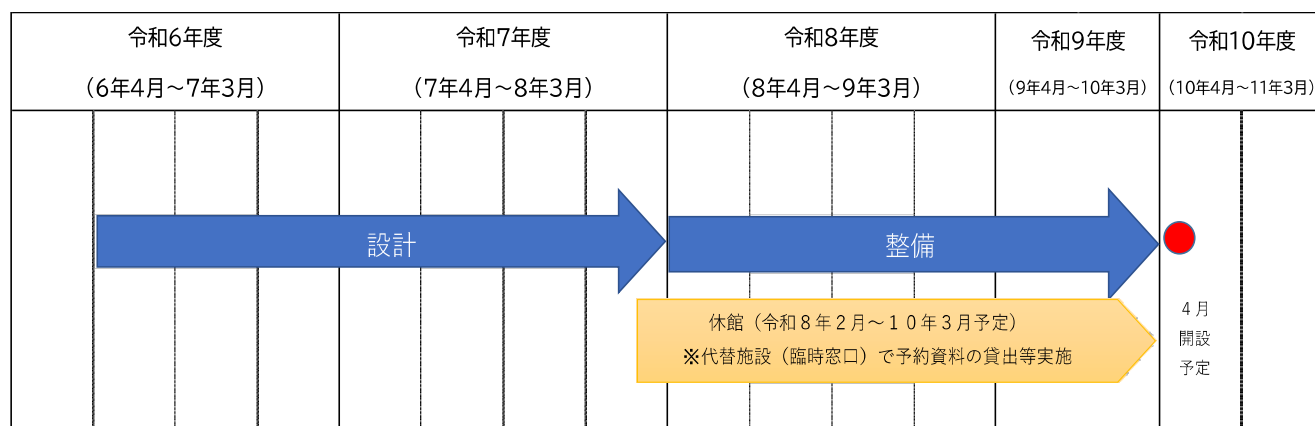
④ 静謐空間分離型図書館

全体は少しおしゃべりができるカフェレベルとし、高い静けさを求める人にはサイレントルームを用意することで、全体としてくつろいだ雰囲気 of 図書館とする。

⑤ 滞在型図書館

自分のペースで長時間過ごすことのできる図書館とする。

4 スケジュール



<参考>千早図書館の現況

開館時期：昭和46年6月1日（区内3カ所目の図書館）

※平成27年4月～9月耐震補強工事

所在地：豊島区千早2-44-2（東京地下鉄有楽町線徒歩5分）

運営形態：完全直営（平成15年4月～29年3月まで窓口委託）

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造地下1階、地上2階

規模：延床面積1142.61㎡（区内地域館：4位／7館）

敷地面積1036.02㎡（区内地域館：2位／5館 ※複合施設除く）

蔵書数：75,486冊（区内地域館：7位／7館）

※令和6年3月31日現在

貸出数：261,002冊（区内地域館：3位／7館）

※令和5年度年間

特徴

- ・アトリエ村発祥の地として池袋モンパルナス関連資料を多く所蔵するほか、横山光輝、山手樹一郎など地域ゆかりの作家の作品の企画展示を行っている。
- ・近接に地域文化創造館、公園がある。
- ・かつては食堂、テラスがあった。（おはなしの部屋は地階に設置）

<千早図書館 現況>



＜千早図書館 改築後イメージ＞

